

1. 目的

- ① 地域がん診療連携支援病院の指定更新にかかる指定要件の充足状況を確認する
- ② 前回実地調査の検討項目にかかる改善状況を確認する
- ③ 第3期がん対策推進計画における、医療提供体制の質的充実を図る
(指定要件の充足のみならず、その内容の質的向上を図る)

2. 根拠

- ① 奈良県地域がん診療連携支援病院指定要綱（令和元年6月28日改正）
- ② がん診療連携拠点病院等実地調査取扱要領（平成30年4月1日）

3. 令和元年度の重点調査分野

- ① 新指針のうち、診療体制の診療従事者
 - ・ A要件（必須要件）の充足
 - ・ C要件（対応することが望ましい要件）の充実
- ② 新指針のうち、医療に係る安全管理
 - ・ 組織体制、医療に係る安全管理を行う者の人的配置・研修受講状況
- ③ 緩和ケア提供体制
- ④ 前回実地調査の検討項目

4. 実施内容

項目	内容
書類確認（50～60分）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人的要件の充足状況、医療安全管理体制の確認（出勤簿、免許証等資格の確認できる書類、医療安全管理体制の組織図、記録等の確認） ・ 緩和ケア提供体制の確認（マニュアル等の確認、ヒアリング） ・ 前回実地調査の検討項目に関する書類の確認
結果通知（10分）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定要件の充足状況、改善点等を口頭で通知

5. 実施状況

指定区分	医療機関名	実施日
奈良県地域がん診療連携支援病院	国保中央病院	令和2年2月4日
	済生会中和病院	令和2年1月31日
	大和高田市立病院	令和2年2月6日

6. 実地調査の状況について（奈良県がん診療連携支援病院）

■前回実地調査検討項目の改善状況について(1/3)

重点調査項目	各病院の状況	改善状況
<p>1 診療体制</p> <p>(1) 診療機能</p> <p>① 実学的治療等の提供体制および標準的治療等の提供 がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボードを設置し、定期的に開催している。</p> <p>ii がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等のスクリーニングを行った上で、歯科医師や薬剤師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士等の専門的多職種に参加を必要に応じて求めている</p>	<p>キャンサーボードの議事録において、医師、放射線技師、看護師等の参加は確認できたが、必要に応じて、より幅広い専門的職種への参加を求めるようお願いする。 (※年度以降の必須要件として予定)</p>	<p>キャンサーボードの議事録において、専門的多職種の参加を確認できた。</p>
<p>1 診療体制</p> <p>(1) 診療機能</p> <p>⑤ 緩和ケアの提供体制</p> <p>ㄥ 緩和ケアががん診療された時から提供されるよう、がん診療に携わる全ての診療従事者により、以下の緩和ケアが提供される体制を整備する。</p> <p>i 週1回以上の頻度で、定期的に病棟ラウンドおよびカンファレンスを行い、苦痛のスクリーニングおよび症状緩和に努めている。</p>	<p>外来での苦痛のスクリーニングについて、平成29年9月より取り組み、現在30～40件のデータが蓄積しているため、引き続き、評価・分析を進めていきたい。</p>	<p>外来でのスクリーニングはデータを蓄積していただいているが、評価・分析については継続して進めていきたい。</p>
<p>ㄥ 緩和ケアががん診療された時から提供されるよう、緩和ケアチームにより、以下の緩和ケアが提供される体制を整備する。</p> <p>viii 緩和ケアに係る診療や相談支援の件数および内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニング結果など、院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析し、評価を行っている。</p>	<p>緩和ケアチームの病棟ラウンドについて、定期的に実施（毎週火曜日）していただいているが、電子カルテ等に緩和ケアチームの氏名の記載がなかったため、記載をお願いする。</p>	<p>電子カルテに緩和ケアチームの指名の記載を確認した。 (病棟ラウンドの実施を火曜日から木曜日に変更。)</p>
<p>⑥ 病棟連携／病診連携の協力体制</p> <p>必要に応じて院内または地域の歯科医師と連携し、がん患者に対して口腔ケアを実施している。</p>	<p>周期期の歯科歯科連携の体制が未整備。平成30年度に、奈良県の委託事業として、拠点病院、地域がん診療病院、支援病院等にて歯科歯科連携の研修会を実施することで、当該研修を契機とし、連携体制を構築するようお願いする。</p>	<p>地域での歯科歯科連携の連絡会を実施した。 ※歯科医師側の歯科歯科連携の意識が必要とのこと。</p>
<p>(3)医療施設</p> <p>3 研修の実施体制</p> <p>(2)連携指定拠点病院との連携により、施設に所属するがん医療に携わる医師が当該研修を修了する体制を整備している。</p>	<p>平成20年4月1日付け健発第0401016号「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」別添に記載のとおり、がん診療連携拠点病院及び地域がん診療病院の病院長等の幹部も緩和ケア研修会を受講することとされている。貴院においても、病院長の積極的な受講をお願いする。</p>	<p>病院長が緩和ケア研修会受講を修了した。</p>

■前回実地調査検討項目の改善状況について(2/3)

重点調査項目	各病院の状況	改善状況
<p>viii 緩和ケアに係る診療や相談支援の件数および内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニング結果など、院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析し、評価を行っている。</p>	<p>苦痛のスクリーニングの結果やチームの介入状況、医療用麻薬の使用量等、院内の緩和ケアに係る情報を把握、分析し、評価できる体制の整備をお願いする。</p>	<p>苦痛のスクリーニングの結果やチームの介入状況、医療用麻薬の使用量等について、分析・評価が進んでいないので、継続した取り組みが必要。</p>

■前回実地調査検討項目の改善状況について(3/3)

重点調査項目	各病院の状況	改善状況
<p>5 PDCAサイクルの確保 (2) 自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じること。また、これらの実施状況につき都道府県拠点病院を中心に都道府県内のがん診療連携拠点病院、特定領域拠点病院、地域がん診療病院において、情報共有と相互評価を行っている。また、地域に対してわかりやすく広報している。</p>	<p>都道府県内のがん診療連携拠点病院等における情報共有や相互評価の実施について、地域への広報等に取り組んでいたが、よりおもしろい（次年度以降の必須要件として予定）</p>	<p>PDCAとして、就労支援について奈良産業保健総合支援センターと包括協定を締結するとともに広報等に取り組んでいる。</p>
<p>6 医療に係る安全管理 (3) 医療安全管理者は、医療安全対策に係る研修を受講している。</p>	<p>医療安全管理者のうち、部門長の医師及び薬剤師の医療安全対策に係る研修の受講をお願いする。（次年度以降の必須要件として予定）</p>	<p>薬剤師については研修修了を確認できたが、部門長の医師が研修未受講かつ、年度内の研修終了の見込みがない。</p>

■指定更新にかかる検討項目について

重点調査項目	各病院の状況
<p>1 診療体制 (1) 診療機能 ① 集学的治療等の提供体制および標準的治療等の提供 ② 集学的治療及び標準的治療等を提供するに当たり、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等のスクリーニングを、診断時から外来及び病棟にて行うことのできる体制を整備している。なお、院内で一貫したスクリーニング手法を活用すること。 ③ 緩和ケアチームと連携し、スクリーニングされたがん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛を迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。</p>	<p>入院でのスクリーニングは実施されている。外来での苦痛のスクリーニングは、化学療法室の乳腺・外科については実施されているが、その他の外来患者にも広げていただくようお願いする。</p>
<p>④緩和ケアの提供体制 ⑤緩和ケアががん診断された時から提供されるよう、緩和ケアチームにより、以下の緩和ケアが提供される体制を整備する。 iv 緩和ケアに係る診療や相談支援の件数及び内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニング結果など、院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析し、評価を行い、緩和ケアの提供体制の改善を図っている。</p>	<p>入院時支援のためのスクリーニングは実施しているが、緩和ケアを主体としたスクリーニングが未実施。スクリーニングの対象・方法・緩和ケアチームとの連携について検討をお願いする。 苦痛のスクリーニングの結果、チームが介入した件数や医療用麻薬の処方量について情報分析・評価をすすめていただくようお願いする。</p>
<p>6医療に係る安全管理 (3) 医療安全管理者は、医療安全対策に係る研修を受講している。 ※医療安全管理者 ・部門長の医師（常勤） ・薬剤師（常勤）（専任であることが望ましい。） ・看護師（常勤、専従）</p>	<p>・部門長の医師（常勤）、薬剤師（常勤）が医療安全管理研修未了かつ年度内の修了の見込みがない。早急に当該研修を終了いただくようお願いする。 ・部門長の医師（常勤）が医療安全管理研修未了かつ年度内の修了の見込みがない。早急に当該研修を終了いただくようお願いする。 ・令和2年3月31日までに修了いただくようお願いする。</p>

がん診療連携拠点病院・地域がん診療病院の指定更新について

■前回未充足の必須要件（猶予要件）の改善状況

R2年1月 書類にて要件が充足したことを確認済み
 （勤務簿、専門医の資格証、各組織図、医療安全に係る研修の修了証等）

医療圏名	類型	申請区分	病院名	前回未充足要件（猶予要件）	前回状況	今回の改善状況
奈良	地域拠点（通常）	更新	奈良県総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理者は医療安全管理研修を受講している。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師は受講済みだが、医師・薬剤師が未受講 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理者の研修修了済
奈良	地域拠点（通常）	更新	市立奈良病院	<ul style="list-style-type: none"> 専従の放射線治療に携わる専門的な知識および技能を有する常勤の医師を1名以上配置する。 院内がん登録を担う者として、専従で中級認定者の認定を受けている者を1人以上配置する。 医療安全管理者は医療安全管理研修を受講している。 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師が不在 中級認定者が不在 看護師は受講済みだが、医師・薬剤師が未受講 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1名在籍 中級認定者1名在籍 医療安全管理者の研修修了済
東和	地域拠点（通常）	更新	天理よろづ相談所病院	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師を1人以上配置する。 院内がん登録を担う者として、専従で中級認定者の認定を受けている者を1人以上配置する。 医療安全管理者は医療安全管理研修を受講している。 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師が不在 中級認定者が不在 看護師は受講済みだが、医師・薬剤師が未受講 	<ul style="list-style-type: none"> 常勤医師1名在籍 中級認定者1名在籍 医療安全管理者の研修修了済
西和	地域拠点（通常）	更新	近畿大学奈良病院	<ul style="list-style-type: none"> 院内がん登録を担う者として、専従で中級認定者の認定を受けている者を1人以上配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中級認定者が不在 	<ul style="list-style-type: none"> 中級認定者1名
南和	地域がん診療	更新	南奈良総合医療センター	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理者は医療安全管理研修を受講している。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師・看護師は受講済みだが、薬剤師が未受講 	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理者の研修修了済

※R2.4.1～R5.3.31の3年間の指定更新について、厚生労働省にて検討中。